

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：にじのそら虹ヶ丘保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：永田 ゆかり	定員（利用人数）：100名
所在地：〒215-0015 神奈川県川崎市麻生区虹ヶ丘2-2-20	
TEL：044-986-2424	ホームページ： https://fukushi-nijinokai.net/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人虹の会	
職員数	常勤職員：27名 非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：20名 調理師：1名
	看護師：1 子育て支援員：1名
	栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	0歳児保育室1室 事務所
	1歳児保育室1室 調理室
	2歳児保育室1室 保育ホール
	3歳児保育室1室 多目的ホール
	4歳児保育室1室 調乳室
	5歳児保育室1室 職員休憩室
	職員更衣室
	教材室
	ランドリールーム
トイレ	
プール	

③理念・基本方針

<保育理念>

乳幼児は成長過程において人格や知能など様々な人間としての基礎となる大切な時期です。子どもが温かい雰囲気の中でのおびのびと安心して過ごせる保育を心掛け、保護者の皆様が安心して預けられる環境作りを大切にしていきます。

☆子ども一人ひとりの人権を尊重しながら子どもの健やかな成長を保障します

☆保護者と協力関係を築き、子どもの最善の利益と福祉の向上を図ります

☆地域子育て支援としての役割を果たします

<保育方針>

1. 一人ひとりの子どもを大切に、集団の中でそれぞれの個性を發揮できるよう、自

発的、主体的に行動できる子どもに育てます

2. 保護者との信頼関係を深め、十分に連絡を取り合い家庭とともに健かでこころ豊かな子どもに育つよう協力しあいます
3. 安心感がもてるよう保育者のきめ細かな援助やかかわりを大切にします
4. さまざまな体験を通して豊かな感性を育て創造性の芽生えを養います
5. 育児をめぐるさまざまな問題への対応を専門機関と連携し、広く子育て支援の役割をもち、地域に開かれた保育園づくりをします

<保育目標>

— こころもからだも元気なこども —

- 生き生きとあそべるこども
- 心豊かなこども
- 自分で考えて自発的に行動できるこども

④施設・事業所の特徴的な取組

<にじのそら虹ヶ丘保育園の特徴的な取り組み>

- 経験豊富な職員が多数いることでのOJTによる保育の伝承
- 法人内・園内研修の充実と外部研修への積極的参加
- 保育技術研修の充実（月1回開催）
- 「スキルアップ」「事故防止委員会」「環境会議」「地域支援」「ICT化」等のプロジェクトによる質の向上の取り組みをしている

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年06月29日（契約日） ～ 2022年02月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 年度）

⑥総評

【にじのそら虹ヶ丘保育園の概要】

●にじのそら虹ヶ丘保育園は、令和2年4月に川崎市立虹ヶ丘保育園の民営化により設立された保育園です。運営主体の社会福祉法人虹の会（以下、法人という）は、以前は一般社団法人川崎市医師会事業協会（平成25年設立）としてエンゼルの名称を持つ病児保育施設を川崎市内に4施設展開していましたが、平成30年の「にじのそら溝の口保育園」開園に先立ち、平成29年8月に現在の法人に改組し、現在、川崎市内に保育園2園、病児保育施設4園を展開しています。にじのそら虹ヶ丘保育園は、川崎市麻生区の南部にあり、横浜市青葉区すすき野に隣接し、虹ヶ丘団地、戸建て住宅街の閑静な場所に位置しています。

●にじのそら虹ヶ丘保育園は、「1. 自然環境では、動植物を大切にし、季節感のある花壇を作り、園庭の自然を大事にしていきます。2. 物的環境では、保育室の整理整頓を心がけ、施設・遊具の安全管理を行い、内部では手作りの遊具作りを行い子どもたちの成長発達に合った遊具を十分に整えていきます。3. 人的環境では明るい挨拶を心がけ、保育園が安心できる場になるよう、人との温かい関わりを心がけていきます。」を掲げ、子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりの子どもを大切にされた保育を実践しています。

●恵まれた環境を存分に生かし、豊かな感性と創造性の芽生えを育み、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、広く子育て支援の役割を持ち、地域に開かれた保育

園作りを目指しています。また、保護者との信頼関係の構築に努め、子どもが健やかに心豊かに育つよう家庭と協力し、子ども一人ひとりの成長を共に喜び合い、明るく温かい保育を提供しています。

◇特に評価の高い点

1. 【保育ノウハウの伝承】

●にじのそら虹ヶ丘保育園では、開設に当たり特に、経験値の高い職員の採用を1つの目標に据え、保育の厚みとしています。経験値の高い保育士が有するノウハウ、日常の保育場面に応じた柔軟な対応、臨機応変な知恵等を保育のベースに置き、経験の浅い保育士の育成、体制作りに努めています。園は新設2年弱ですが、旧市立保育園の方針等をしっかり継続しつつ、保育の現状を踏まえ、子どもの遊びの変化や子どもの生活習慣の課題、家庭や地域社会の現状に対応し、「保育とは」を深く捉え、職員体制の整備に力を入れています。確立した方向性の下、現在は質の高い保育を維持し、経験値の高い職員から知識・技術を伝承できるよう環境整備を推進しています。

2. 【研修の充実】

●にじのそら虹ヶ丘保育園では、職員教育研修に力を入れています。経験値の高い職員が持つ技術からは既存の保育のノウハウが習得でき、研修では新しい保育手法の習得・ノウハウの導入が得られます。研修体制は園内研修、法人主催の研修、外部研修の充実を図り、積極的に職員に受講を推奨しています。外部研修では、川崎市主催の研修や麻生区保育総会主催の研修（30回以上受講実績あり）等に参加し、また、キャリアアップ研修には昨年6名、今年は8名が参加する等、多くの保育士が参加しています。職員は、専門的な知識を広く深く学び、保育士の価値を高め、キャリアアップを図っています。また、毎月実施している「保育技術研修」の充実を図り、保育に生かすよう取り組んでいます。

3. 【プロジェクト活動】

●保育の充実に向けて実行して行くことは多くあり、園長は、やるべきことに順位付けをし、精力的に実行しています。にじのそら虹ヶ丘保育園では、問題の解決と職員の育成、園の基礎固めを平行して進めて行かなくてはならない必要性の対策として、プロジェクト化を図っています。「保育の質・人材育成」、「事故防止」、「環境」、「地域支援」、「ICT化」（主任を中心にホームページや動画の情報発信）等、多くのプロジェクトを設定し、「にじのそら虹ヶ丘保育園」作りに取り組んでいます。また、「環境会議」では、子どもがワクワク・ドキドキできる保育の検討や、子どもの発達に合わせ、どんな環境にしていくか、何が必要か等を話し合う会議とし、積極的に取り組んでいます。このようなプロジェクト自体が職員の大きな教育につながっています。

◇改善を求められる点

1. 【職員の採用と現有職員の定着】

●子どもたちを適切な環境の下で健康・安全で安定感を持って活動できるよう養護すると共に、子どもの心身を健全に発達するよう、経験値の高い職員を配置し、若い職員にそのノウハウの伝承と共に、クラス編成等に支障を来さない体制を整えています。今後、職員の交代等の時期を視野に入れ、若手の職員の採用は園の運営上不可欠な条件と思われます。現状、安定し、年3回の人事評価面談に併せ、職員の意向、家庭状況等を聞き取り、人事の対策を講じています。さらに、次年度に向けて若手職員を数名採用予定でもあり、継続して人材の採用及び、職員の定着に努めて行かれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： にじのそら虹ヶ丘保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

民営化後、初の第三者評価でしたので、勉強になりました。
聞き取りに来てくださった方の理解力に少々戸惑いを感じました。
2日間の聞き取りが、ほとんどの時間園長対応となり、通常の業務が滞った。

<評価後取り組んだ事として>

保護者の意向がわかった。周知しているつもりでも、理解してもらえていないこともあり、コロナ禍での運営の難しさを感じ、文章、マチコミでの周知を増やした。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり